

## 10 - 1 九州の地震活動(2003年11月～2004年4月) Seismic Activity in Kyushu (November 2003 - April, 2004)

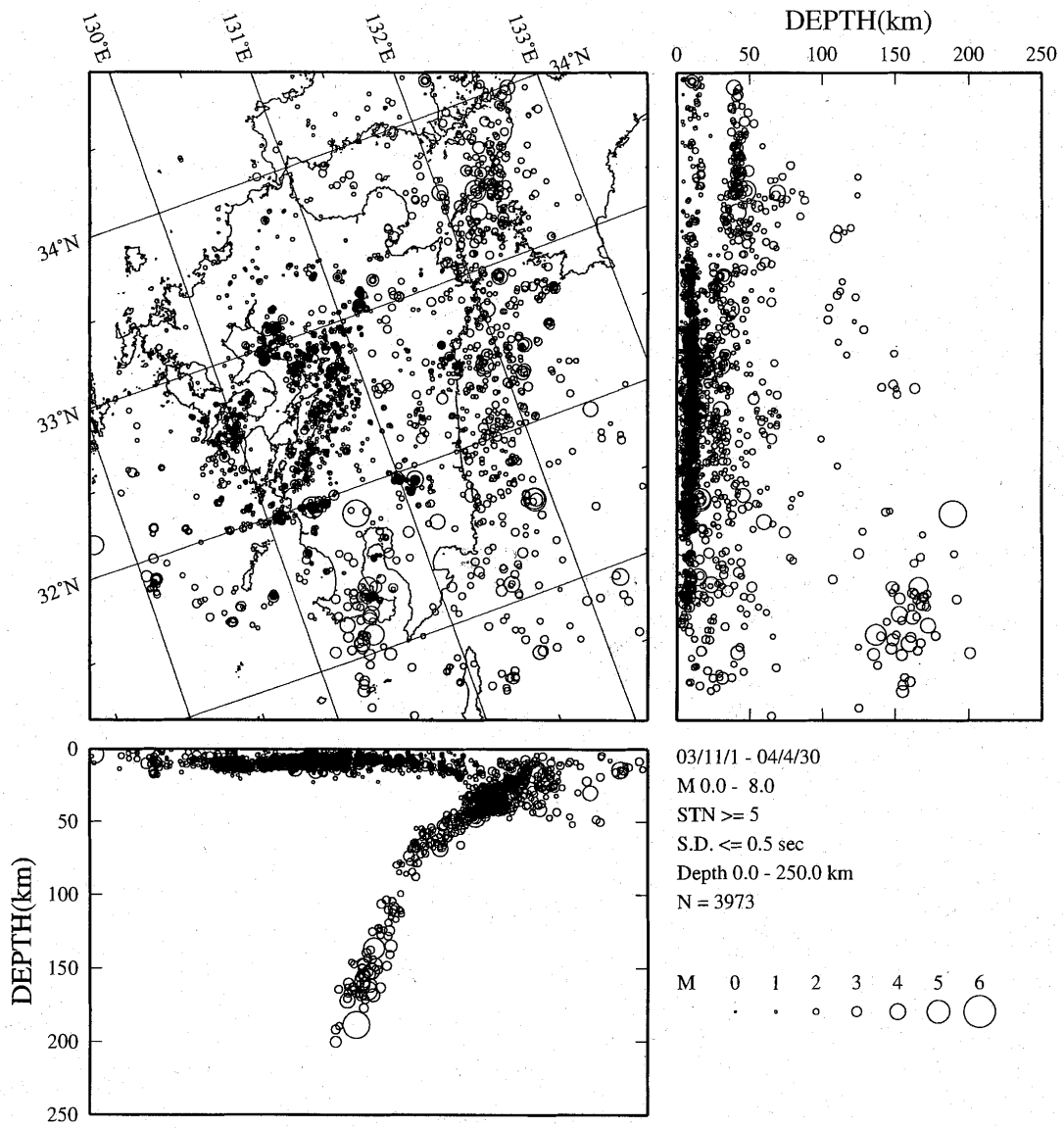
九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター  
Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

第1図に2003年11月～2004年4月の震源分布, 第2図に同期間の月別震央分布と主な地震の発震機構を示す. また, 第3図には深さ30km以浅の地震の分布を示す.

この期間, 鹿児島県下の沈み込むフィリピン海スラブでM5.5の地震(2004年3月1日, 深さ189km)が発生した. また, 日向灘のフィリピン海プレートとユーラシアプレートのプレート境界においてM5.0の低角逆断層型の地震(2004年4月21日, 深さ15.5km)が発生した.

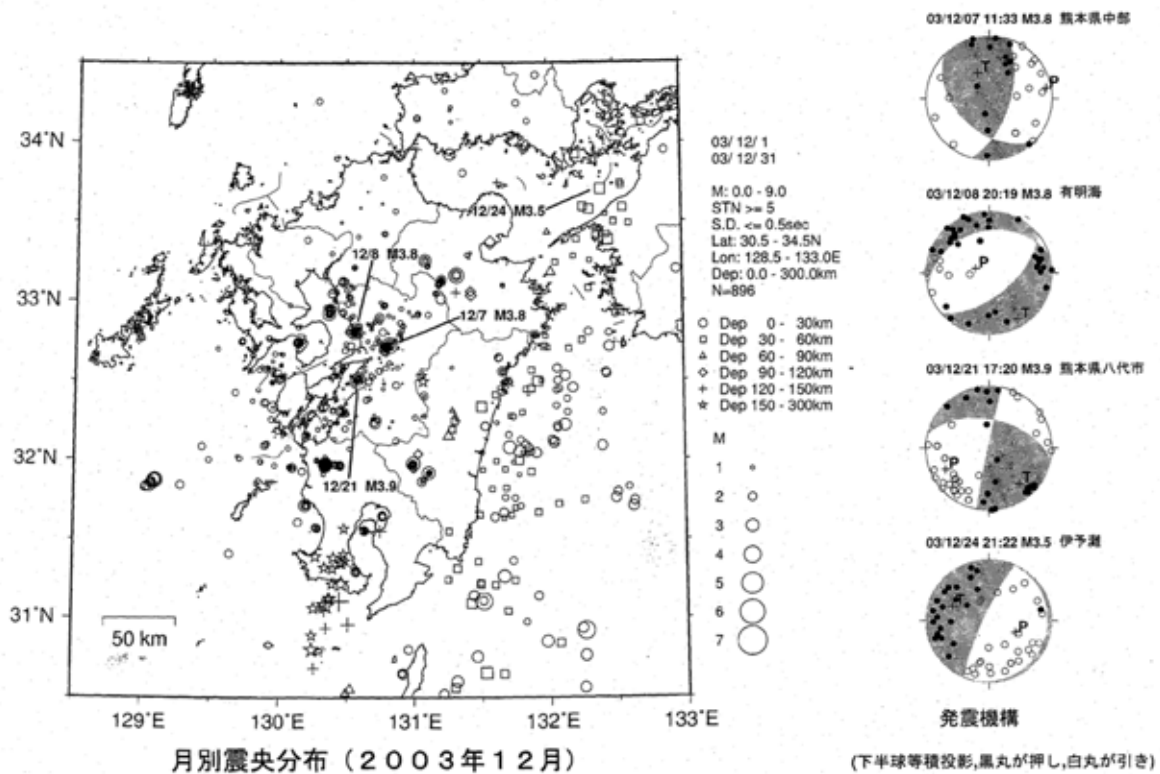
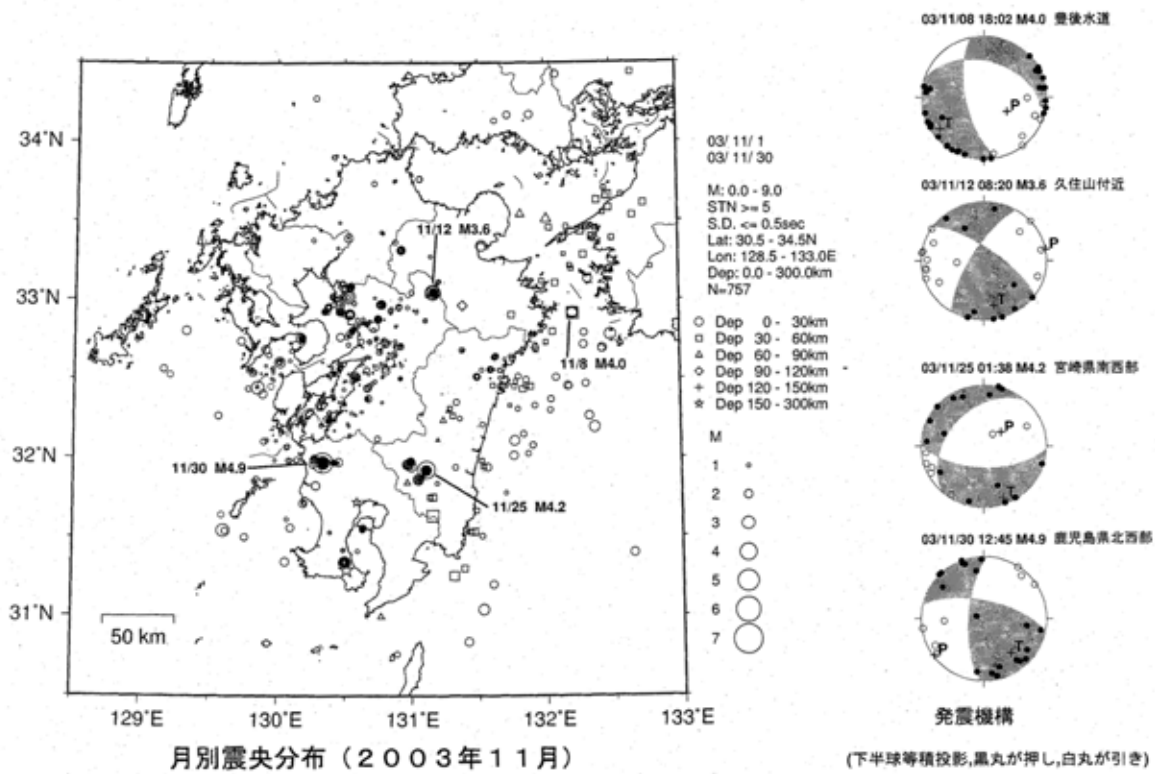
九州内陸部の深さ30km以浅においては, 熊本市付近, 日奈久 布田川断層系付近に沿う地域, 宮崎県南部, 鹿児島県北西部での地震活動が活発であった.

尚, 本報告は気象庁・防災科学技術研究所・鹿児島大学・高知大学・東京大学・九州大学のデータをもとに作成された.



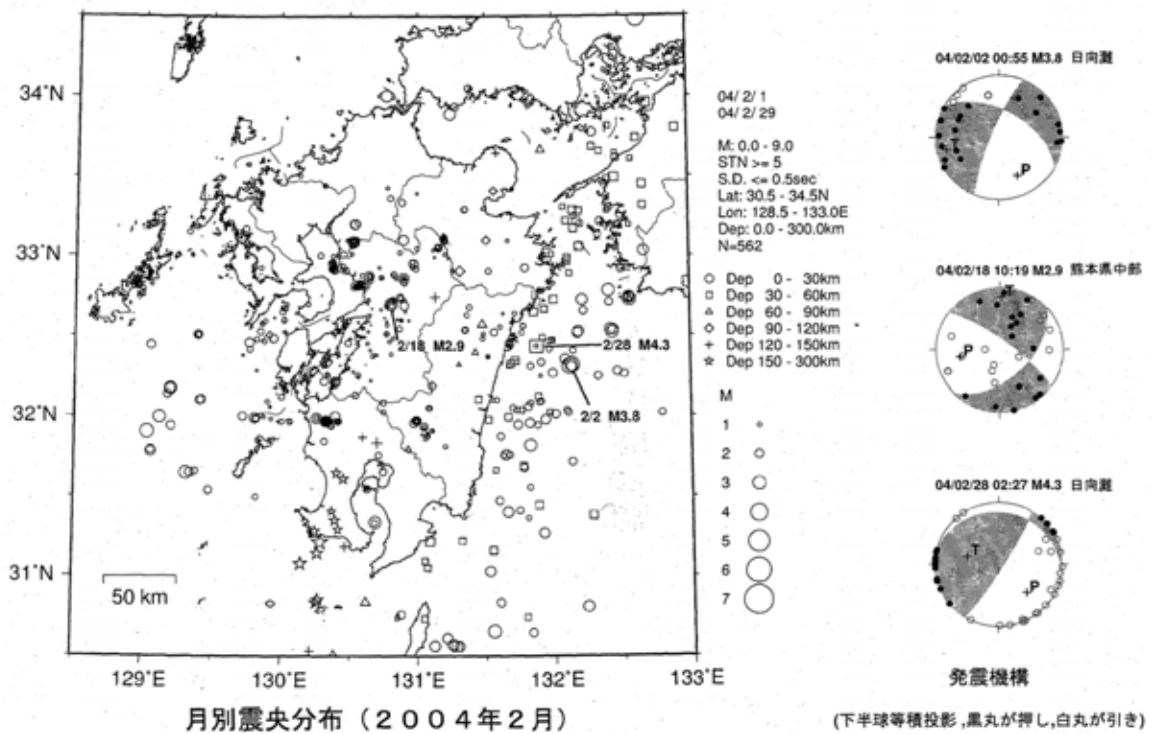
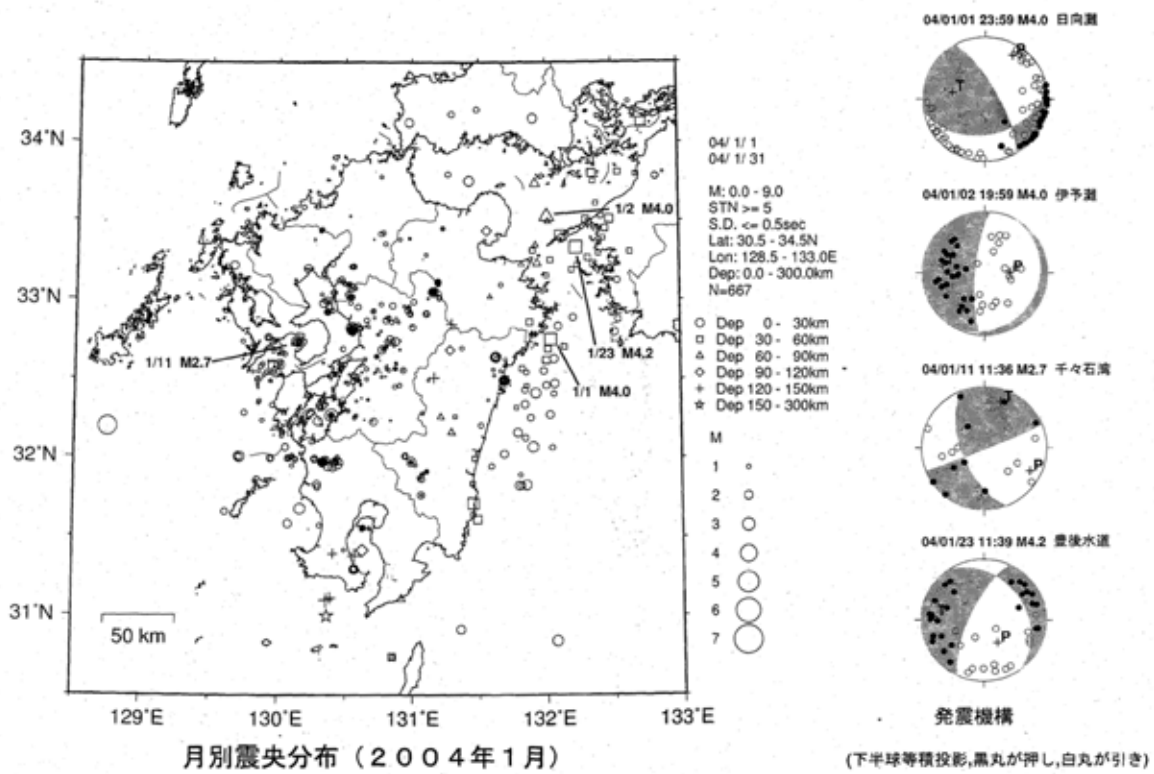
第 1 図 震源分布(2003 年 11 月 ~ 2004 年 4 月)

Fig.1 Hypocentral distribution (November 2003 - April 2004)



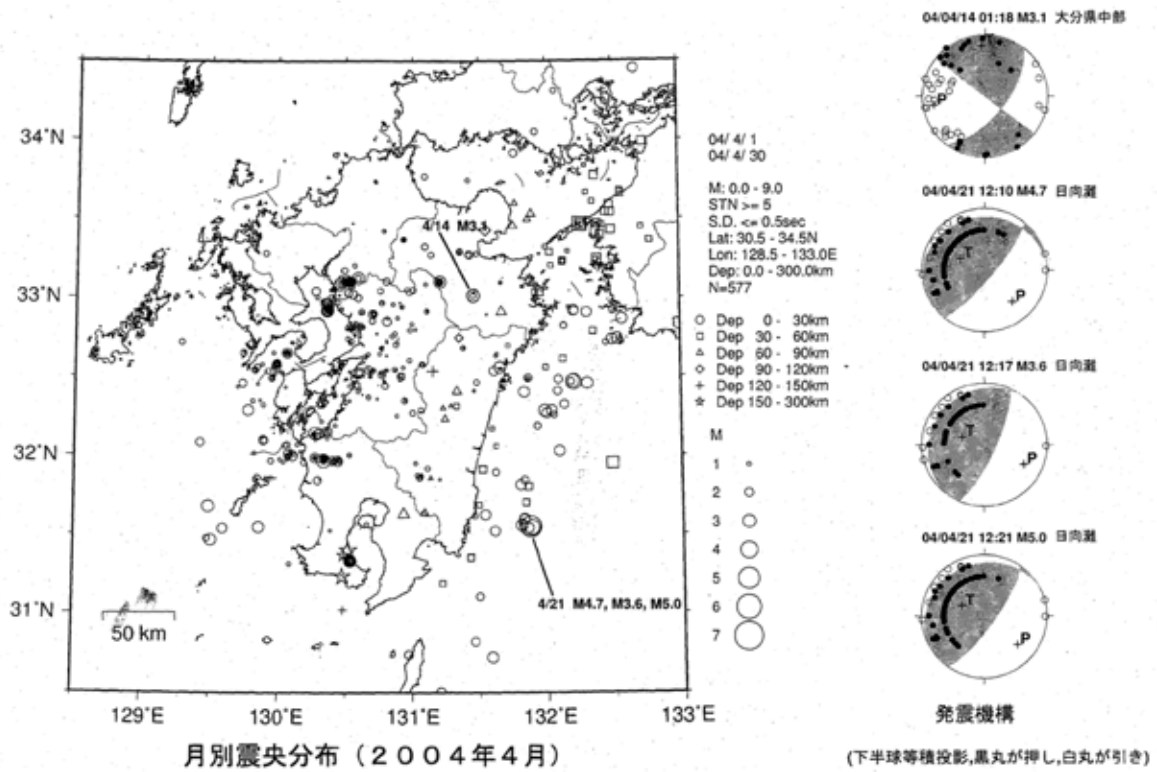
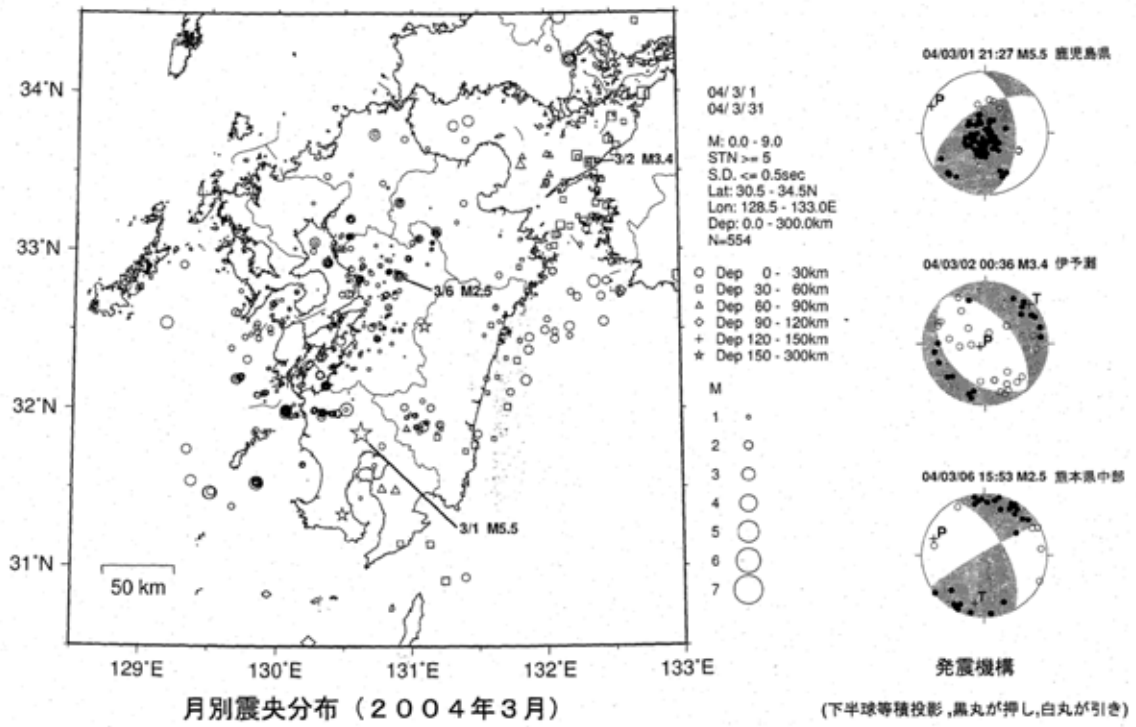
第2図 月別震央分布と発震機構

Fig.2 Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms



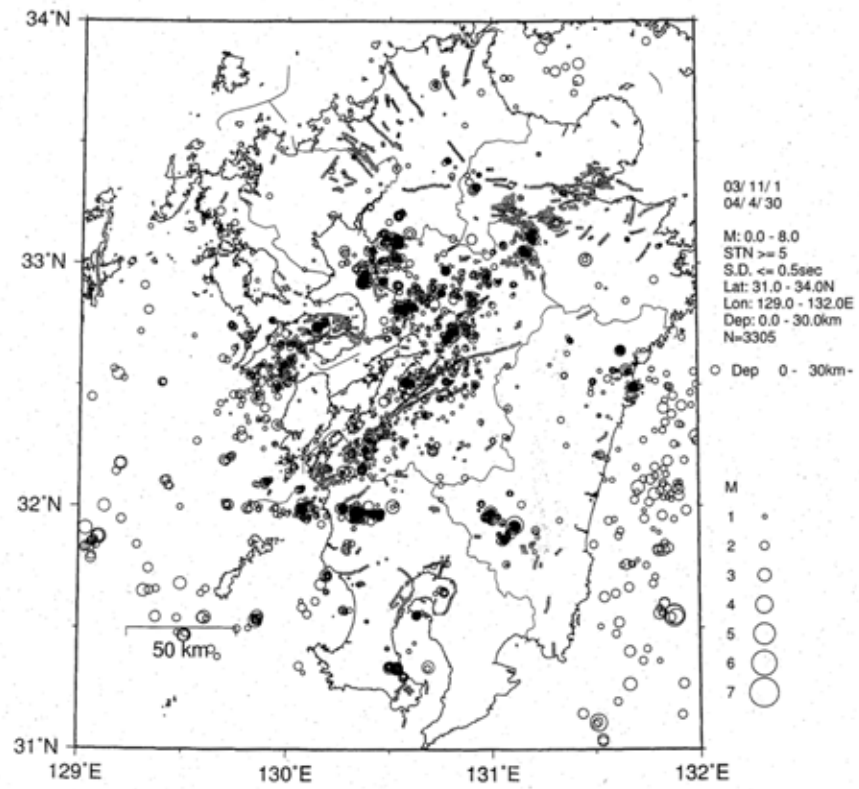
第2図 月別震央分布と発震機構(つづき)

Fig.2 Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms(continued).



第2図 月別震央分布と発震機構(つづき)

Fig.2 Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms(continued).



第 3 図 深さ 30km 以浅の地震分布と活断層分布(活断層研究会，1980)

Fig.3 Epicentral distribution of shallow earthquakes (depth 30km). Distribution of active faults are also shown (The Research Group for Active Faults, 1980)